

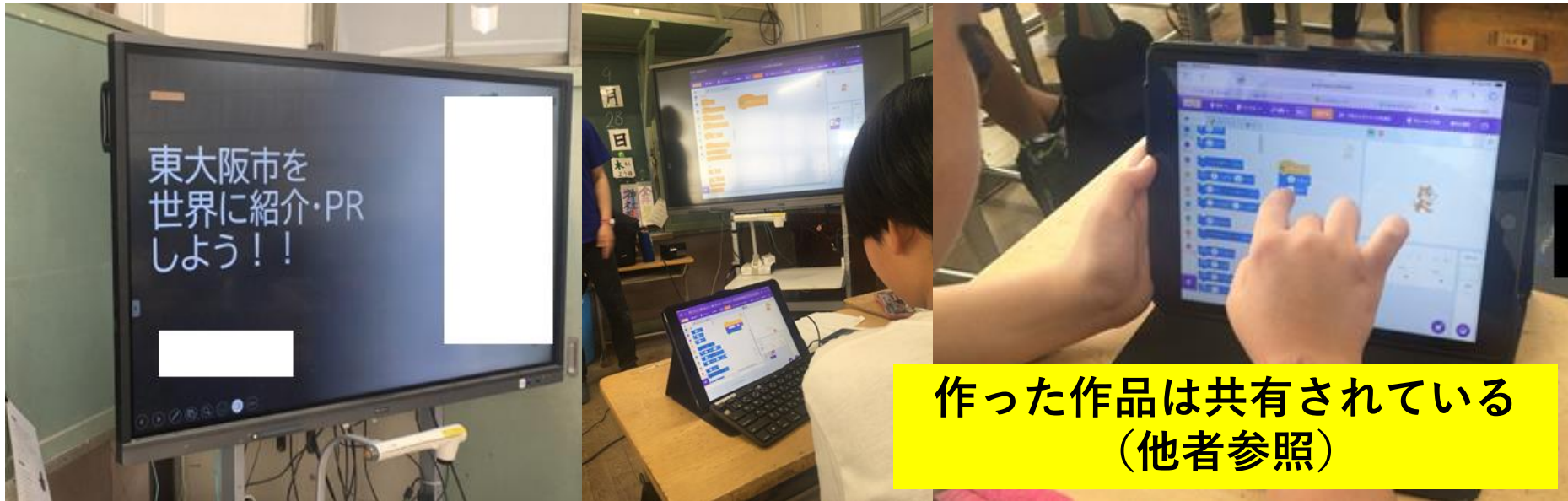
【取組内容①④】教員研修もアウトプット中心の活動に～教師の学びと子どもの学びは相似形～



市教委のICT担当の指導主事を講師として招き、受講する職員がアウトプット中心となるような研修スタイルで構成。教員が共同編集の良さを理解するために、白紙の段階から共有し、他者の考えをいつでも参照できる環境で成果物を作成した。研修での教師の学びと授業での子どもの学びが相似形となるような研修を実施。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

東大阪市立荒川小学校

【取組内容①】 クラウド上のプログラミングソフトで自分たちの町を紹介しよう～互いの作品はいつでも参照～

自分の町をPR（紹介）するため、クラウド上のプログラミングソフトを使って、プログラムを作成。

子どもたちは、自分のプログラムが思い通りに動くかどうかを試行錯誤しながら挑戦していた。

作成したプログラムは共有されているので、他者のプログラム構成やアイデアを参考に作成している様子が見られた。



【取組内容⑤】動画作成ソフトのデータを共有し、編集した動画で校内の啓発動画を作成



委員会活動では、子どもたちが脚本等を共同で編集し、それをもとに、動画編集ソフトで啓発動画を作成した。作成した動画は、校内で視聴できるようにしている。動画を作成の際は、身近な場面や課題を設定し、「誰に」「何のために」という相手意識や目的意識もって活動に取り組むことができた。